



御船小「ふるさと御船学」～御船町の人・自然・歴史・文化に学ぶ～

昨年度に引き続き、御船小「ふるさと御船学」として、生活科・総合的な学習等を行っています。

御船小「ふるさと御船学」の目的は、「地域と積極的に関わる体験活動の場を設定し、ふるさと御船に誇りを持ち、地域と関わり合いながら自分の将来の夢について考える」ことです。

御船小「ふるさと御船学」を通して、御船町の人・自然・歴史・文化を、大好きになってほしいと思います。

とおしもん

～辺田見若宮神社例大祭の行列隊「通し物」見学～

10月9日(水)、辺田見若宮神社例大祭の行列隊「通し物」が、本校に来てくださいました。全校児童で見学しました。

若宮神社の宮司・有村様が子供たちに話してくださいました。このお祭りは、若宮神社に伝わる「鯰伝説」と深い関りがあるとのことでした。

伝説によると、「今から300年ほど前、御船町で大洪水が起きて、神様が御船川に流されるという大事件が起きました。御船町の人たちが、大変心配して、神様を探していると、大淵というところで、大きな鯰が神様を受け止めてくださっていました。御船町の人々は大変喜んで、三味線や太鼓を打ち鳴らし、歌を歌って、賑やかに神様を迎えに行きました。」これが、「通し物」の始まりだそうです。それ以来、御船町の人々は鯰を大切にするようになったそうです。

今回の見学を通して、低学年では、音楽科の祭囃子のリズムを感じ、中学年では、地域学習とつなげて考え、高学年では、理科の観点から、御船町では昔から地震が起っていたという地層の学習とつないだり、小さい子供たちからおじいちゃんやおばあちゃんが関わる様子から「ふるさと御船」について思いをはせたりしています。

短い時間でしたが、子供たちが「ふるさと御船」について考える貴重な時間となりました。ありがとうございました。

